

【No. 25】 中国の思想家に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 孔子は、人として最も大切なものは仁であるとし、仁とは人を愛することであり、自分が欲しないことを他人に行ってはならないと説き、また、政治の上では、法や刑罰よりも道徳によって統治する「徳治主義」を理想とした。
- 2 莊子は、人の性質は生まれながらにして善であるとする「性善説」の立場に立ち、人には惻隱そくいんの心、羞惡しゅうおの心、辞讓の心、是非の心の四つの心があるとする「四端説」を説いた。
- 3 老子は、人の生まれながらの性質は利己的なものであるとの「性悪説」をととなえ、そのままにしておけば争いがおこるため、規範としての礼によって人々の性質を矯正しなければならないと説いた。
- 4 荀子は、人間の本来のあり方は、人為にとらわれず、自然のままにあること、つまり「無為自然」が理想であるとし、天地をはじめとして、宇宙の万物を生み出す根源的なものを「道」と呼ぶ道家思想を説いた。
- 5 孟子は、善と悪、美と醜といった区別は人為的なもので、あるがままの世界ではすべて同一であるとする「万物斉同」をととなえ、天地自然と一体となった境地にある人間を「真人」と呼び、これを理想的な生き方であると説いた。

孔子＝孟子 儒家

老子＝莊子 道家

- 1 ○
- 2 孟子
- 3 荀子
- 4 老子
- 5 莊子

【No. 26】 次の文は、19世紀後半から20世紀初めのヨーロッパ美術に関する記述であるが、文中の空所A～Cに該当する語又は人物名の組合せとして、妥当なのはどれか。

□ A □とは、主に19世紀後半のフランスで展開された絵画上の運動をいい、事物の固有色を否定し、外光の中での色彩の輝きや移ろいを効果的に描こうとした。

代表的な画家には、「睡蓮」や「積み藁」などを描いた□ B □や、動きの瞬間的な表現に優れ、踊り子や競馬などを描いた□ C □、子供や女性などの人物画を得意として、「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」を描いたオーギュスト・ルノワールなどがいる。

	A	B	C
1	野獣派	アンリ・マティス	エドガー・ドガ
2	野獣派	ポール・セザンヌ	パウル・クレー
3	印象派	クロード・モネ	エドガー・ドガ
4	印象派	アンリ・マティス	エドヴァルト・ムンク
5	立体派	クロード・モネ	パウル・クレー

【No. 30】 我が国と中国との関係に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 飛鳥時代、朝廷は最初の遣唐使として小野妹子を派遣したが、これは唐の皇帝から称号を得て、朝鮮半島における政治的立場を有利にするためであった。
- 2 奈良時代、仏教は庶民を中心に発展したが、それは当時日本に渡来して戒律を伝え、興福寺を開いた鑑真ら中国の僧侶の活動に負うところが大きかった。
- 3 鎌倉時代、源頼朝は摂津国の大輪田泊の修築を行い、初めて日宋貿易を行ったが、それで得られる利益は鎌倉幕府の重要な経済基盤の一つであった。
- 4 室町時代、足利義満は明に使者を派遣し、明の皇帝から義満を日本国王と呼ぶ返書を得て、明が交付する勘合を携帯した船による朝貢形式の貿易を行った。
- 5 江戸時代、徳川家康は大名や豪商に朱印状を与え中国との貿易を特に奨励したが、その後幕府は鎖国政策をとり、中国船の来航を一切禁じた。

1

2

3

4○

5

【No. 31】 近代の我が国の条約に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 日米和親条約は、神奈川等の4港を開港すること、通商は自由貿易にすること、開港場に居留地を設け、居留地での領事裁判権を認めることなどを定めたものである。
- 2 日米修好通商条約は、下田及び箱館の2港を開港することやアメリカ船が必要とする薪水や食料を供給すること、難破船やその乗組員を救助することなどを定めたものである。
- 3 日朝修好条規は、江華島事件を機会に結ばれ、釜山等3港の開港と日本の領事裁判権や関税の免除などを認めさせた、日本にとって有利な条約であった。
- 4 日英通商航海条約は、陸奥宗光外相の交渉により調印され、これにより直ちに領事裁判権の撤廃と最恵国待遇の相互平等並びに日本の関税自主権の完全回復が達成された。
- 5 下関条約は、日露戦争後の講和会議の結果結ばれ、ロシアが韓国に対する日本の指導権を認め、樺太の北緯50度以南の領有権を日本に譲るものであった。

1

2

3○

4

5

【No. 32】 第二次世界大戦後のアジア諸国の動向に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 ヴェトナムでは、ホー＝チ＝ミンがヴェトナム民主共和国の独立を宣言したが、これを認めないフランスとの間にインドシナ戦争が起こり、ジュネーブ会議で休戦協定が成立した。
- 2 インドネシアでは、スハルトが独立を宣言して初代大統領となり、独立を認めないイギリスとの間に独立戦争を続け、国際連合の調停によりインドネシア連邦共和国の独立を認めさせた。
- 3 インドでは、国民会議派と全インド＝ムスリム連盟との対立から、統一インドの独立は不可能となり、ヒンドゥー教徒が多く住むインド連邦と、イスラム教徒が多く住むバングラデシュが分離独立した。
- 4 中国では、国民政府軍と共産党軍との間に国共内戦が始まり、アメリカの支援を受けた共産党軍が中国全土を制圧し、国民党は香港に移り国民政府を存続させた。
- 5 朝鮮半島では、北緯38度線を境に、朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国が成立し、両国の間で軍事衝突が発生すると、国連安全保障理事会はソ連軍を主体とする国連軍を派遣した。

1○

2

3

4

5

【No. 33】 世界の農業に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 混合農業は、中世の三圃式農業から発展した、穀物・飼料作物の輪作と家畜の飼育とが結びついた農業で、北西ヨーロッパなどに見られる。
- 2 地中海式農業は、オリーブやブドウなどの樹木作物と冬小麦などを栽培する農業で、地中海沿岸だけで行われている。
- 3 焼畑農業は、南アメリカのパンパで行われる草地を焼いて耕地を作る農業で、草木の灰が肥料となるため、長い年月にわたって作物が収穫できる。
- 4 オアシス農業は、サバナ地帯でゴムやコーヒーなどを栽培する農業で、泉・外来河川の水や地下水路で引いた水を利用する。
- 5 プランテーション農業は、都市への出荷を目的に、新鮮な野菜・花卉・果物などを集約的に栽培する生産性の高い農業で、先進諸国で行われている。

1○

2

3

4

5

【No. 34】 法の解釈に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 拡張解釈とは、ある事項に関する法令の規定を、それと本質的に異なる類似の事項に当てはめることをいい、刑罰法令では広く認められているが、私法上は禁止されている。
- 2 論理解釈とは、複雑な構造を持った条文を、文法などのルールに従って解釈するものである。
- 3 縮小解釈とは、同様の規定の重複を避けるための立法技術であり、準用規定に基づき、ある事項に関する規定を類似の他の事項に当てはめるものである。
- 4 文理解釈とは、法文の字句にとらわれることなく、法典全体の組織や論理的関連等を考慮して論理的に法規の意味を解釈するものである。
- 5 反対解釈とは、類似した甲・乙二つの事実のうち、甲についてだけに法文の規定がある場合に、乙については、甲とは反対の扱いを受けると解釈するものである。

- 1 類推解釈
- 2 文理解釈
- 3 準用
- 4 論理解釈
- 5 ○

「犬を連れて入ってはいけません」→反対解釈すれば猫は OK  
→類推解釈すれば猫もダメ

縮小解釈	対	拡張解釈（拡大解釈）
「ペットの犬」		「ペット全部」

【No. 36】 国際法に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 国家間で国際法上の紛争が生じた場合に、国際司法裁判所は、常に紛争当事国の合意を得ずに裁判を行うことができる。
- 2 国際慣習法は、ひろく国際社会の中で行われていた慣行が、法として国家間で認められたものである。
- 3 グロティウスは、自然法に基づく国際法の概念を提唱し、その著作「永久平和のために」で、主権国家の上位に立つ国際組織の設立を呼びかけた。
- 4 すべての国際法は、統一的な立法機関である国際連合で作られ、そこで成立した国際法はすべての国に対して拘束力をもつ。
- 5 条約とは、国家間の合意事項を成文化したものであり、すべての条約は国家の代表者によって調印された時点で成立し、効力を発する。

1

2○

3カント

4

5